

? 毎日のギモン紙面相談室

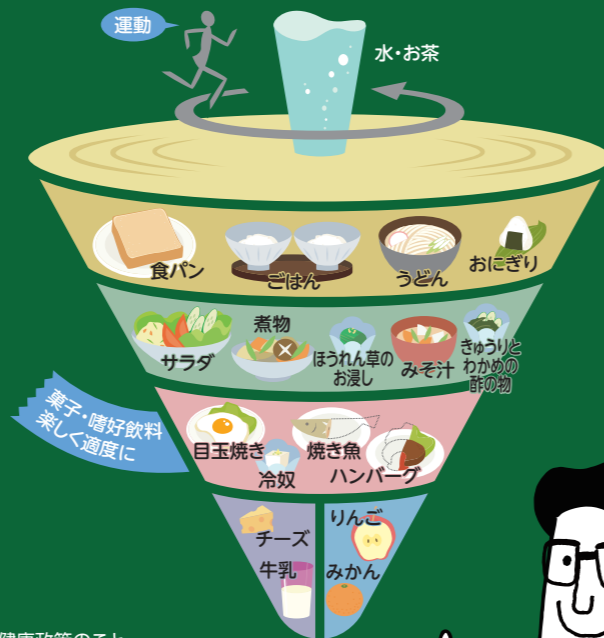


野菜中心の生活って健康的ですよね?

1日3食、バランスの取れた食事を心がけましょう。

野菜はビタミンをはじめとする様々な栄養素が含まれており、私たちの食事に欠かせない存在です。『健康日本21』*1における、1日の野菜摂取量も350gを目標量とするほど、たくさん摂取することを推奨しています。ただし、野菜には私たち人間が生きていく上で必要な糖質・脂質・たんぱく質の三大栄養素が不足しがちです。三大栄養素が不足すると、『低栄養』となり、身体機能の低下の引き金になる可能性があります。ビタミンには栄養素の吸収を促進する作用もあるため、主食、主菜に加え野菜のおかずを一食につき1~2皿食べることが理想的です。バランスのとれた食事で健康を保ち、質の高い生活を送りましょう。

*1…健康寿命の延伸を目的に、厚生労働省が主体となり推進している健康政策のこと



とぴあ先生

豊富な経験と知識をもち、仲間や患者さんから信頼される、富田浜病院に勤める医師の理想像。

皆さんからの質問に、
とぴあ先生がお答えします!

とぴあ



Staff Voice

富田浜老人保健施設
浜っこ老健 受付
みず たに あかね
水谷 茜

気軽にご相談いただくことで
入所者さんご家族さん
のご不安を少しでもやわらげたい。

社会福祉法人の建物を入ると、右側に受付があります。私はそこに勤務しており、直接お会いするのは、浜っこ老健に来られる方、富田浜病院グループに仕事などで来訪される方が多いですね。私は生まれも育ちも四日市で、地域に根差した仕事がしたいと思い、この仕事を選びました。デイサービスなどで訪れる方や、老健に入所されている方のご家族さんと接して、そのお力になれていると感じたとき、この仕事をして良かったと思えます。新型コロナウイルス感染症が流行する前は、老健

の入所者さんご家族さんは施設内で会いましたが、今は受付でご対応させていただくことになっています。「最近、顔が見えないから様子がわからない」とご家族さんがおっしゃると、何かさせていただきたいと強く思います。例えば、「このようなことが聞きたい」「このような不安がある」ということを受付の私たちにおっしゃってください。ケアマネージャーなど、入所者さんと直接触れ合うスタッフに私たちが伝えておくことで、スタッフがご家族さんと接する機会に、きちんとお話し準備ができます。私たちも、できるだけお話いただきやすい雰囲気づくりを心がけていますが、お困りことがあれば、何でもご相談ください。グループの様々な部署と連携している私たち受付が、内容に合わせて、適切な部署をご紹介します。

お願い

富田浜病院グループでは、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、皆さまをお迎えしております。来院、ご利用の際は、ご協力よろしくお願いたします。

医療法人 富田浜病院

〒510-8008 三重県四日市市富田浜町26-14

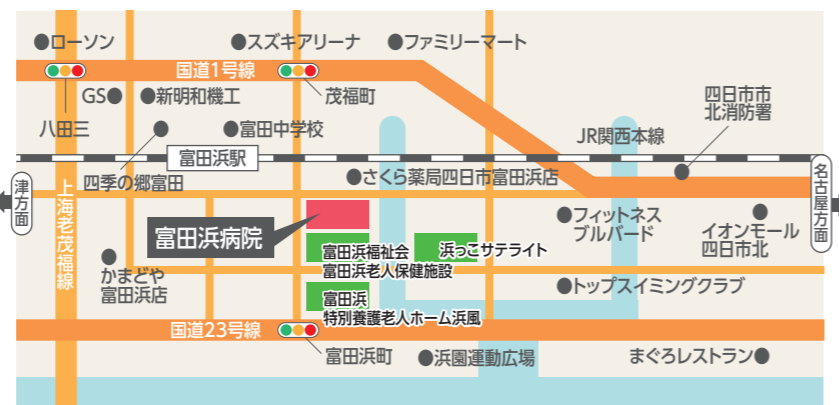
お気軽にお問い合わせください

tel 059-365-0023

富田浜病院

検索

HPIはこちら



部署紹介



富田浜老人保健施設
浜っこ老健受付

来訪者に対応する受付業務と、介護報酬に関わる事務業務との両立。どちらも入所者さんや利用者さん、ご家族のためを心がけています。

受付業務においては、お越しいただく方の名前と顔を覚えること、ご不安を解消することを大切にしています。コロナ禍において、ご家族さんが施設内に入ることが難しくなっています。その分、受付スタッフを通して入所者さんの状況を得やすくするなど、できることは増えてい

ると考えています。介護報酬に関わる事務など、事務作業も多くあります。介護報酬の請求(レセプト)の作成もその一つ。間違えのないよう心掛けますし、わかりにくい箇所はできるだけご説明しますが、不明点などありましたら、何でもお聞きください。



ご家族さんや他事業所からの相談も。ご家族さんからのご相談などのほか、地域医療・福祉の中核施設であるため、様々な他の事業所さんから相談の電話もかかってきます。職場で、情報共有をしながら、できるだけ素早い対応をモットーにしています。



何でも聞きやすい対応を大切に接遇。最初のご相談窓口として、できるだけいろいろなお話を聞き取るよう心がけています。もちろん私たちが解決できることは多くありません。ご相談内容に対して、適切な部署・スタッフにおつなぎすることを心がけています。



ちょっとした合間には雑談タイムも。ご家族さんのお悩みをお聞きした際は、グループ内外の最適な部署がどこかを部署内で相談。富田浜病院グループのいろいろな部署についての情報共有も積極的にしています。ときには趣味やペットの話など雑談もします。

患者さん、ご家族の皆さんへ

コロナ禍で入所されているご家族とお会いできず、寂しい思いをされている方も多いと思います。それは入所者さんも同じです。ケアマネなどのスタッフはもちろんですが、私たち受付スタッフも、お悩みやご心配などをできるだけ解決したいと思っています。ぜひ何でもご相談ください。

スター制度のご紹介

「スター制度」認定者インタビュー

富田浜病院グループでは、医療・介護業務以外の場面でも、技術やノウハウの習得や、それを通じた社会貢献活動に努めています。「スター制度」は、その活動が顕著であった職員がノミネートされるグループ内の評価制度。活躍に応じて「★」～「★★★★★」の段階があり、職員のネームプレートに掲載しています。



「怒り」の感情で1日を過ごすよりも、どんなことでも職員に話していただきたい。

人との関わりにおいて、怒りの感情とはどのようなものなのかに興味を持ち、メンタルヘルスマネジメント・ラインケアとアンガーマネジメントの資格を取得。MS部でコミュニケーションの重要性や、自分自身が持っている怒りの感情など、メンタルヘルスやアンガーマネジメントの勉強会を開催しています。何かが気に入らないという「怒り」の感情を持ったまま1日を過ごす、とても後悔が残ります。気になることや不安な気持ちがある時は、どんなことでも良いので話してください。私自身も笑顔での会話を心がけ、利用者さんが楽しく過ごせるようにサポートしていきます。

富田浜病院 MS部
介護福祉士
小川 朋子



高校スポーツのトレーナー経験を活かして、スポーツ疾患の患者さんのサポートをしたい。

整形外科初診患者さんの予診、骨折・脱臼の整復、ギプス固定・物理療法患者さんの対応、外来患者さんの個別リハビリ、病棟の回診補助などを行っています。それに加えて現在、高校女子ハンドボールと高校男子ラクビーに参加し、テーピング固定、選手のコンディショニングチェック、練習メニュー提案・コンディショニングについての講義を行っています。トレーナー活動の原点は、中学校2年生に野球肘で手術をしたこと。トレーナーの経験を活かし、自分と同じように怪我をした選手のサポートや、怪我を未然に防ぐサポートをしていきたいと考えています。

富田浜病院 リハビリテーション部
柔整課 柔道整復師
北村 夏基

